



ユーザ Astra Automation

NetApp
September 02, 2026

目次

ユーザ	1
Astra API (ACC) ユーザーエンドポイント	1
グループの新しいユーザを作成する	1
パラメータ	1
要求の本文	1
応答	6
応答	14
応答	14
応答	15
応答	16
エラー	16
用語の意味	17
グループのユーザを一覧表示する	19
パラメータ	19
応答	21
応答	22
応答	23
応答	23
エラー	24
用語の意味	24
グループのユーザーを取得する	34
パラメータ	34
応答	34
応答	42
応答	43
応答	43
エラー	44
用語の意味	44
グループのユーザーを変更する	46
パラメータ	47
要求の本文	47
応答	54
応答	54
応答	54
応答	55
応答	55
エラー	56
用語の意味	56
グループのユーザーを削除する	59

パラメータ	59
応答	59
応答	59
応答	60
応答	60
エラー	61
用語の意味	61
新しいユーザーを作成する	62
パラメータ	62
要求の本文	62
応答	67
応答	75
応答	75
応答	76
応答	77
エラー	77
用語の意味	78
すべてのユーザーを一覧表示する	80
パラメータ	80
応答	82
応答	83
応答	84
応答	84
エラー	85
用語の意味	85
ユーザーを取得する	94
パラメータ	94
応答	94
応答	102
応答	103
応答	103
エラー	104
用語の意味	104
ユーザーを変更する	106
パラメータ	107
要求の本文	107
応答	114
応答	114
応答	114
応答	115
応答	115

エラー	116
用語の意味	116
ユーザーを削除する	119
パラメータ	119
応答	119
応答	119
応答	120
応答	120
エラー	121
用語の意味	121

ユーザ

Astra API（ACC）ユーザーエンドポイント

ユーザーAPIは、システムとやり取りできるユーザーを表します。

グループの新しいユーザを作成する

POST /accounts/{account_id}/core/v1/groups/{group_id}/users

作成するユーザー API リソースの希望値を指定します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path（パス）	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}
group_id	string	path（パス）	True	包含するグループリソースのID

要求の本文

作成するユーザー API リソースの希望値を指定します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-user」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2"

Name	を入力します	必須	説明
authID	string	False	外部IDプロバイダに関連付けられた識別子を含むJSON文字列。この文字列の内容は、指定されたauthProviderによって異なります。「authProvider」が「local」のユーザの場合、「authID」は「email」の値に設定されます。「authProvider」が「Idap」のユーザの場合、「authID」はLDAPサーバからの識別名（DN）に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
authProvider	string	False	idAuth識別子のコンテキストを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「cloud-central」 - ユーザー認証はNetApp Cloud Centralサービスから提供されます • 「local」 - ユーザー認証はローカルのユーザ/パスワードストアから行われます • 「ldap」 - ユーザー認証は外部LDAPサーバから行われますAstra Control Centerでは、すべてのユーザーが「local」または「ldap」のいずれかの値を持つ必要があります。値が指定されていない場合は、デフォルト値として「local」が選択されます。Astra Control Serviceでは、「authProvider」を「local」または「ldap」とすることはサポートされていません。値が指定されていない場合は、デフォルトで「cloud-central」が使用されます。

Name	を入力します	必須	説明
firstName	string	False	ユーザーが指定したフルネーム（名）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
lastName	string	False	ユーザーが指定した長めの姓を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
companyName	string	False	ユーザーに関連付けられた会社名を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、会社名が提供されていないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます

Name	を入力します	必須	説明
email	string	True	ユーザーが指定したメールアドレスを含むJSON文字列。
電話	string	False	ユーザーの電話番号を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、電話番号が提供されていないことを示します。
postalAddress	"postalAddress"	False	住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。
sendWelcomeEmail	string	False	検証後にウェルカムメールが送信されるかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定しない場合、ACSの場合は値が「true」に設定され、Astra Control Centerの場合は「false」に設定されます。定義された値は次のとおりです： 「true」 - ウェルカムメールが送信されます。作成時のデフォルト値です。 「false」 - ウェルカムメールは送信されません。「authProvider」が「local」または「Idap」のユーザの場合、この値は無視され、「false」に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-user",
  "version": "1.2",
  "firstName": "John",
  "lastName": "Doe",
  "email": "jdoe@example.com"
}
```

応答

Status: 201, Returns the newly created user resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： 「application/astra-user」

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	ユーザーの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • "pending" - ユーザーアカウントは現在作成中です。ユーザーはユーザーリソースの読み取りと変更のみが可能です（デフォルト値）。 • この状態は、「authProvider」が「local」のユーザーには無効です • 「アクティブ」 - ユーザーアカウントは動作中です（アカウント設定「isEnabled」が「true」の場合、ユーザーはログインできます）。 • これは、「authProvider」が"local"であるユーザーのデフォルト値です • 「suspended」 - ユーザーアカウントが停止されています（アカウントの「isEnabled」設定に関係なく、ユーザーはログインできません）。
isEnabled	string	True	ユーザーがログインを許可されているかどうかを示すJSON文字列。定義済みの値は次のとおりです： • 「true」 - ユーザーはログインできます。作成時のデフォルト値です。 • 「false」 - ユーザーはログインを許可されていません。

Name	を入力します	必須	説明
authID	string	False	外部IDプロバイダに関連付けられた識別子を含むJSON文字列。この文字列の内容は、指定されたauthProviderによって異なります。「authProvider」が「local」のユーザの場合、「authID」は「email」の値に設定されます。「authProvider」が「Idap」のユーザの場合、「authID」はLDAPサーバからの識別名（DN）に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
authProvider	string	False	idAuth識別子のコンテキストを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「cloud-central」 - ユーザー認証はNetApp Cloud Centralサービスから提供されます 「local」 - ユーザー認証はローカルのユーザ/パスワードストアから行われます 「ldap」 - ユーザー認証は外部LDAPサーバから行われますAstra Control Centerでは、すべてのユーザーが「local」または「ldap」のいずれかの値を持つ必要があります。値が指定されていない場合は、デフォルト値として「local」が選択されます。Astra Control Serviceでは、「authProvider」を「local」または「ldap」とすることはサポートされていません。値が指定されていない場合は、デフォルトで「cloud-central」が使用されます。

Name	を入力します	必須	説明
firstName	string	True	ユーザーが指定したフルネーム（名）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
lastName	string	True	ユーザーが指定した長めの姓を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
companyName	string	False	ユーザーに関連付けられた会社名を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、会社名が提供されていないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます

Name	を入力します	必須	説明
email	string	True	ユーザーが指定したメールアドレスを含むJSON文字列。
電話	string	False	ユーザーの電話番号を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、電話番号が提供されていないことを示します。
postalAddress	"postalAddress"	False	住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。
sendWelcomeEmail	string	True	検証後にウェルカムメールが送信されるかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定しない場合、ACSの場合は値が「true」に設定され、Astra Control Centerの場合は「false」に設定されます。定義された値は次のとおりです： 「true」 - ウェルカムメールが送信されます。作成時のデフォルト値です。 「false」 - ウェルカムメールは送信されません。「authProvider」が「local」または「Idap」のユーザの場合、この値は無視され、「false」に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
enableTimestamp	string	False	ユーザーが最後に有効化された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
lastActTimestamp	string	False	このユーザーに代わって最後にID APIが呼び出された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。（注：これはコストがかかります。）定義された値は次のとおりです： ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-user",
  "version": "1.2",
  "id": "5bad8e04-e2fd-5c43-98d7-300580993f49",
  "state": "pending",
  "isEnabled": "true",
  "authID": "HteLK3hk28sdbDLKHReB",
}
```

```

"authProvider": "cloud-central",
"firstName": "John",
"lastName": "Doe",
"email": "jdoe@example.com",
"sendWelcomeEmail": "true",
"lastActTimestamp": "2020-08-05T14:24:54.128427Z",
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

postalAddress

住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。

Name	を入力します	必須	説明
addressCountry	string	True	ISO 3166 Alpha-2で規定されている、郵便住所に関連付けられた国名または国コードを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：2 • 最大長さ：2
addressLocality	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、都市）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
addressRegion	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、州）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
postalCode	string	True	郵便番号に関連付けられた郵便番号を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
streetAddress1を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	True	郵便番号に関連付けられた番地を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
streetAddress2を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	False	オプションの付加的な住所情報（番地、私書箱など）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前

Name	を入力します	必須	説明
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

グループのユーザを一覧表示する

GET /accounts/{account_id}/core/v1/groups/{group_id}/users

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
group_id	string	path (パス)	True	包含するグループリソースのID
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。 URLの例 : "include=id"、"include=id,name" OpenAPI の例: "id" • 例: id、email

Name	を入力します	入力	必須	説明
制限 (Limit)	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。 URLの例: "limit=2" OpenAPI の例: "2"
フィルタ	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、リソースを返すためにどのフィールドを一致させる必要があるかを示します。 サポートされているオペレータは次のとおりです: • eq - 等号 • lt/gt - より小さい/より大きい • lte/gte - 以下/以上 URLの例 : "filter=field%20eq%20%27value%27" OpenAPI の例 : 「field eq 'value'」
OrderBy	string	query	False	コレクションを一覧表示する際の、リソースの並び順を示します。 URLの例 : "orderBy=name"、"orderBy=name%20desc" OpenAPI の例 : "name desc"

Name	を入力します	入力	必須	説明
スキップします	string	query	False	コレクションを一覧表示する際にスキップするリソースの数を指定します。 URLの例：「skip=1」 OpenAPI の例："1"
カウント	string	query	False	メタデータオブジェクトで返されるリソースの総数。 URLの例 ："count=true" OpenAPI の例 ："true"
続行		query	False	リストの表示を再開するトークンを示します。 URLの例 ："continue=<continue token="" from="" collection="" metadata="">"</continue> OpenAPIの例 ："<continue token="" from="" collection="" metadata="">"</continue>&lt;/continue&gt;

応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか : "user_1.2_get_respons e_body"、配列[]]	True	
メタデータ	"type_astra_metadata_list "	True	

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-users",
  "version": "1.2",
  "items": [
    [
      "11c0cfa1-4f27-4ef7-a21c-cb452fc5c9aa",
      "jdoe@example.com"
    ],
    [
      "e324ec3a-706d-4f57-a95d-1d88c03e7b73",
      "ssmith@example.com"
    ],
    [
      "3070c84d-129b-4017-82a8-2c26a42dd77e",
      "wjohns@example.com"
    ]
  ],
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}
```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

postalAddress

住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。

Name	を入力します	必須	説明
addressCountry	string	True	ISO 3166 Alpha-2で規定されている、郵便住所に関連付けられた国名または国コードを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：2 • 最大長さ：2
addressLocality	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、都市）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
addressRegion	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、州）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
postalCode	string	True	郵便番号に関連付けられた郵便番号を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
streetAddress1を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	True	郵便番号に関連付けられた番地を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
streetAddress2を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	False	オプションの付加的な住所情報（番地、私書箱など）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

user_1.2_get_response_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-user」

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	ユーザーの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • "pending" - ユーザーアカウントは現在作成中です。ユーザーはユーザーリソースの読み取りと変更のみが可能です（デフォルト値）。 • この状態は、「authProvider」が「local」のユーザーには無効です • 「アクティブ」 - ユーザーアカウントは動作中です（アカウント設定「isEnabled」が「true」の場合、ユーザーはログインできます）。 • これは、"authProvider" が"local"であるユーザーのデフォルト値です • 「suspended」 - ユーザーアカウントが停止されています（アカウントの「isEnabled」設定に関係なく、ユーザーはログインできません）。

Name	を入力します	必須	説明
isEnabled	string	True	ユーザーがログインを許可されているかどうかを示すJSON文字列。定義済みの値は次のとおりです： 「true」 - ユーザーはログインできます。作成時のデフォルト値です。 「false」 - ユーザーはログインを許可されていません。
authID	string	False	外部IDプロバイダに関連付けられた識別子を含むJSON文字列。この文字列の内容は、指定されたauthProviderによって異なります。 「authProvider」が「local」のユーザの場合、「authID」は「email」の値に設定されます。 「authProvider」が「ldap」のユーザの場合、「authID」はLDAPサーバからの識別名（DN）に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
authProvider	string	False	idAuth識別子のコンテキストを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「cloud-central」 - ユーザー認証はNetApp Cloud Centralサービスから提供されます • 「local」 - ユーザー認証はローカルのユーザー/パスワードストアから行われます • 「ldap」 - ユーザー認証は外部LDAPサーバから行われますAstra Control Centerでは、すべてのユーザーが「local」または「ldap」のいずれかの値を持つ必要があります。値が指定されていない場合は、デフォルト値として「local」が選択されます。Astra Control Serviceでは、「authProvider」を「local」または「ldap」とすることはサポートされていません。値が指定されていない場合は、デフォルトで「cloud-central」が使用されます。

Name	を入力します	必須	説明
firstName	string	True	ユーザーが指定したフルネーム（名）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
lastName	string	True	ユーザーが指定した長めの姓を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
companyName	string	False	ユーザーに関連付けられた会社名を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、会社名が提供されていないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます

Name	を入力します	必須	説明
email	string	True	ユーザーが指定したメールアドレスを含むJSON文字列。
電話	string	False	ユーザーの電話番号を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、電話番号が提供されていないことを示します。
postalAddress	"postalAddress"	False	住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。
sendWelcomeEmail	string	True	検証後にウェルカムメールが送信されるかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定しない場合、ACSの場合は値が「true」に設定され、Astra Control Centerの場合は「false」に設定されます。定義された値は次のとおりです： 「true」 - ウェルカムメールが送信されます。作成時のデフォルト値です。 「false」 - ウェルカムメールは送信されません。「authProvider」が「local」または「ldap」のユーザーの場合、この値は無視され、「false」に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
enableTimestamp	string	False	ユーザーが最後に有効化された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
lastActTimestamp	string	False	このユーザーに代わって最後にID APIが呼び出された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。 （注：これはコストがかかります。）定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

type_astra_metadata_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

グループのユーザーを取得する

GET /accounts/{account_id}/core/v1/groups/{group_id}/users/{user_id}

JSON レスポンスボディに格納された User API リソースを返します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
group_id	string	path (パス)	True	包含するグループリソースのID
user_id	string	path (パス)	True	リストするユーザーコレクションのID

応答

Status: 200, Returns the stored User API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです: • 「application/astra-user」

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	ユーザーの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • "pending" - ユーザーアカウントは現在作成中です。ユーザーはユーザーリソースの読み取りと変更のみが可能です（デフォルト値）。 • この状態は、「authProvider」が「local」のユーザーには無効です • 「アクティブ」 - ユーザーアカウントは動作中です（アカウント設定「isEnabled」が「true」の場合、ユーザーはログインできます）。 • これは、「authProvider」が"local"であるユーザーのデフォルト値です • 「suspended」 - ユーザーアカウントが停止されています（アカウントの「isEnabled」設定に関係なく、ユーザーはログインできません）。
isEnabled	string	True	ユーザーがログインを許可されているかどうかを示すJSON文字列。定義済みの値は次のとおりです： • 「true」 - ユーザーはログインできます。作成時のデフォルト値です。 • 「false」 - ユーザーはログインを許可されていません。

Name	を入力します	必須	説明
authID	string	False	外部IDプロバイダに関連付けられた識別子を含むJSON文字列。この文字列の内容は、指定されたauthProviderによって異なります。「authProvider」が「local」のユーザの場合、「authID」は「email」の値に設定されます。「authProvider」が「Idap」のユーザの場合、「authID」はLDAPサーバからの識別名（DN）に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
authProvider	string	False	idAuth識別子のコンテキストを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「cloud-central」 - ユーザー認証はNetApp Cloud Centralサービスから提供されます • 「local」 - ユーザー認証はローカルのユーザ/パスワードストアから行われます • 「ldap」 - ユーザー認証は外部LDAPサーバから行われますAstra Control Centerでは、すべてのユーザーが「local」または「ldap」のいずれかの値を持つ必要があります。値が指定されていない場合は、デフォルト値として「local」が選択されます。Astra Control Serviceでは、「authProvider」を「local」または「ldap」とすることはサポートされていません。値が指定されていない場合は、デフォルトで「cloud-central」が使用されます。

Name	を入力します	必須	説明
firstName	string	True	ユーザーが指定したフルネーム（名）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
lastName	string	True	ユーザーが指定した長めの姓を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
companyName	string	False	ユーザーに関連付けられた会社名を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、会社名が提供されていないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます

Name	を入力します	必須	説明
email	string	True	ユーザーが指定したメールアドレスを含むJSON文字列。
電話	string	False	ユーザーの電話番号を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、電話番号が提供されていないことを示します。
postalAddress	"postalAddress"	False	住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。
sendWelcomeEmail	string	True	検証後にウェルカムメールが送信されるかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定しない場合、ACSの場合は値が「true」に設定され、Astra Control Centerの場合は「false」に設定されます。定義された値は次のとおりです： 「true」 - ウェルカムメールが送信されます。作成時のデフォルト値です。 「false」 - ウェルカムメールは送信されません。「authProvider」が「local」または「Idap」のユーザの場合、この値は無視され、「false」に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
enableTimestamp	string	False	ユーザーが最後に有効化された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
lastActTimestamp	string	False	このユーザーに代わって最後にID APIが呼び出された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。（注：これはコストがかかります。）定義された値は次のとおりです： ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-user",
  "version": "1.2",
  "id": "5bad8e04-e2fd-5c43-98d7-300580993f49",
  "state": "active",
  "isEnabled": "true",
  "authID": "HteLK3hk28sdbDLKHReB",
}
```

```

"authProvider": "cloud-central",
"firstName": "John",
"lastName": "Doe",
"companyName": "NetApp, Inc.",
"email": "jdoe@example.com",
"phone": "408-555-2222",
"postalAddress": {
  "addressCountry": "US",
  "addressLocality": "Sunnyvale",
  "addressRegion": "California",
  "postalCode": "94089",
  "streetAddress1": "495 East Java Drive"
},
"sendWelcomeEmail": "true",
"enableTimestamp": "2020-08-05T14:24:54.128427Z",
"lastActTimestamp": "2020-08-05T14:24:54.128427Z",
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

```
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
```

```
"title": "Operation not permitted",
"detail": "The requested operation isn't permitted.",
"status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

postalAddress

住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。

Name	を入力します	必須	説明
addressCountry	string	True	ISO 3166 Alpha-2で規定されている、郵便住所に関連付けられた国名または国コードを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：2 • 最大長さ：2
addressLocality	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、都市）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
addressRegion	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、州）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
postalCode	string	True	郵便番号に関連付けられた郵便番号を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
streetAddress1を使用したチャック アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	True	郵便番号に関連付けられた番地を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
streetAddress2を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	False	オプションの付加的な住所情報（番地、私書箱など）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

グループのユーザーを変更する

PUT /accounts/{account_id}/core/v1/groups/{group_id}/users/{user_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更でき

ないキー値は保持します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
group_id	string	path (パス)	True	包含するグループリソースのID
user_id	string	path (パス)	True	リストするユーザーコレクションのID

要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-user」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2"
ID	string	False	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	False	ユーザーの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • "pending" - ユーザーアカウントは現在作成中です。ユーザーはユーザーリソースの読み取りと変更のみが可能です（デフォルト値）。 • この状態は、「authProvider」が「local」のユーザーには無効です • 「アクティブ」 - ユーザーアカウントは動作中です（アカウント設定「isEnabled」が「true」の場合、ユーザーはログインできます）。 • これは、「authProvider」が"local"であるユーザーのデフォルト値です • 「suspended」 - ユーザーアカウントが停止されています（アカウントの「isEnabled」設定に関係なく、ユーザーはログインできません）。
isEnabled	string	False	ユーザーがログインを許可されているかどうかを示すJSON文字列。定義済みの値は次のとおりです： • 「true」 - ユーザーはログインできます。作成時のデフォルト値です。 • 「false」 - ユーザーはログインを許可されていません。

Name	を入力します	必須	説明
authID	string	False	外部IDプロバイダに関連付けられた識別子を含むJSON文字列。この文字列の内容は、指定されたauthProviderによって異なります。「authProvider」が「local」のユーザの場合、「authID」は「email」の値に設定されます。「authProvider」が「Idap」のユーザの場合、「authID」はLDAPサーバからの識別名（DN）に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
authProvider	string	False	idAuth識別子のコンテキストを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「cloud-central」 - ユーザー認証はNetApp Cloud Centralサービスから提供されます 「local」 - ユーザー認証はローカルのユーザ/パスワードストアから行われます 「ldap」 - ユーザー認証は外部LDAPサーバから行われますAstra Control Centerでは、すべてのユーザーが「local」または「ldap」のいずれかの値を持つ必要があります。値が指定されていない場合は、デフォルト値として「local」が選択されます。Astra Control Serviceでは、「authProvider」を「local」または「ldap」とすることはサポートされていません。値が指定されていない場合は、デフォルトで「cloud-central」が使用されます。

Name	を入力します	必須	説明
firstName	string	False	ユーザーが指定したフルネーム（名）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
lastName	string	False	ユーザーが指定した長めの姓を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
companyName	string	False	ユーザーに関連付けられた会社名を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、会社名が提供されていないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます

Name	を入力します	必須	説明
email	string	False	ユーザーが指定したメールアドレスを含むJSON文字列。
電話	string	False	ユーザーの電話番号を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、電話番号が提供されていないことを示します。
postalAddress	"postalAddress"	False	住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。
sendWelcomeEmail	string	False	検証後にウェルカムメールが送信されるかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定しない場合、ACSの場合は値が「true」に設定され、Astra Control Centerの場合は「false」に設定されます。定義された値は次のとおりです： 「true」 - ウェルカムメールが送信されます。作成時のデフォルト値です。 「false」 - ウェルカムメールは送信されません。「authProvider」が「local」または「Idap」のユーザの場合、この値は無視され、「false」に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
enableTimestamp	string	False	ユーザーが最後に有効化された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
lastActTimestamp	string	False	このユーザーに代わって最後にID APIが呼び出された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。（注：これはコストがかかります。）定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-user",
  "version": "1.2",
  "firstName": "John",
  "lastName": "Dale",
  "email": "jdale@example.com"
```

```
}
```

応答

Status: 204, Indicates if the user resource was updated.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

postalAddress

住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。

Name	を入力します	必須	説明
addressCountry	string	True	ISO 3166 Alpha-2で規定されている、郵便住所に関連付けられた国名または国コードを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：2 • 最大長さ：2
addressLocality	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、都市）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
addressRegion	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、州）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
postalCode	string	True	郵便番号に関連付けられた郵便番号を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
streetAddress1を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	True	郵便番号に関連付けられた番地を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
streetAddress2を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	False	オプションの付加的な住所情報（番地、私書箱など）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前

Name	を入力します	必須	説明
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

グループのユーザーを削除する

DELETE /accounts/{account_id}/core/v1/groups/{group_id}/users/{user_id}

指定されたユーザー API リソースを削除します。

副作用

- ユーザーに関連付けられている以下のリソースが削除されます：notificationMarks、トークン、およびユーザーを参照するすべてのroleBindings。
- 「authProvider」が「local」のユーザーの場合、「keyType」が「passwordHash」のリンクされた認証情報も削除されます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}
group_id	string	path (パス)	True	包含するグループリソースのID
user_id	string	path (パス)	True	リストするユーザーコレクションのID

応答

Status: 204, Indicates if the user resource was deleted.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

新しいユーザーを作成する

POST /accounts/{account_id}/core/v1/users

作成するユーザー API リソースの希望値を指定します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}

要求の本文

作成するユーザー API リソースの希望値を指定します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： 「application/astra-user」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： "1.0" "1.1" "1.2"

Name	を入力します	必須	説明
authID	string	False	外部IDプロバイダに関連付けられた識別子を含むJSON文字列。この文字列の内容は、指定されたauthProviderによって異なります。「authProvider」が「local」のユーザの場合、「authID」は「email」の値に設定されます。「authProvider」が「Idap」のユーザの場合、「authID」はLDAPサーバからの識別名（DN）に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
authProvider	string	False	idAuth識別子のコンテキストを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「cloud-central」 - ユーザー認証はNetApp Cloud Centralサービスから提供されます • 「local」 - ユーザー認証はローカルのユーザ/パスワードストアから行われます • 「Idap」 - ユーザー認証は外部LDAPサーバから行われますAstra Control Centerでは、すべてのユーザーが「local」または「Idap」のいずれかの値を持つ必要があります。値が指定されていない場合は、デフォルト値として「local」が選択されます。Astra Control Serviceでは、「authProvider」を「local」または「Idap」とすることはサポートされていません。値が指定されていない場合は、デフォルトで「cloud-central」が使用されます。

Name	を入力します	必須	説明
firstName	string	False	ユーザーが指定したフルネーム（名）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
lastName	string	False	ユーザーが指定した長めの姓を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
companyName	string	False	ユーザーに関連付けられた会社名を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、会社名が提供されていないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます

Name	を入力します	必須	説明
email	string	True	ユーザーが指定したメールアドレスを含むJSON文字列。
電話	string	False	ユーザーの電話番号を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、電話番号が提供されていないことを示します。
postalAddress	"postalAddress"	False	住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。
sendWelcomeEmail	string	False	検証後にウェルカムメールが送信されるかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定しない場合、ACSの場合は値が「true」に設定され、Astra Control Centerの場合は「false」に設定されます。定義された値は次のとおりです： 「true」 - ウェルカムメールが送信されます。作成時のデフォルト値です。 「false」 - ウェルカムメールは送信されません。「authProvider」が「local」または「Idap」のユーザの場合、この値は無視され、「false」に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-user",
  "version": "1.2",
  "firstName": "John",
  "lastName": "Doe",
  "email": "jdoe@example.com"
}
```

応答

Status: 201, Returns the newly created user resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： 「application/astra-user」

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	ユーザーの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • "pending" - ユーザーアカウントは現在作成中です。ユーザーはユーザーリソースの読み取りと変更のみが可能です（デフォルト値）。 • この状態は、「authProvider」が「local」のユーザーには無効です • 「アクティブ」 - ユーザーアカウントは動作中です（アカウント設定「isEnabled」が「true」の場合、ユーザーはログインできます）。 • これは、「authProvider」が"local"であるユーザーのデフォルト値です • 「suspended」 - ユーザーアカウントが停止されています（アカウントの「isEnabled」設定に関係なく、ユーザーはログインできません）。
isEnabled	string	True	ユーザーがログインを許可されているかどうかを示すJSON文字列。定義済みの値は次のとおりです： • 「true」 - ユーザーはログインできます。作成時のデフォルト値です。 • 「false」 - ユーザーはログインを許可されていません。

Name	を入力します	必須	説明
authID	string	False	外部IDプロバイダに関連付けられた識別子を含むJSON文字列。この文字列の内容は、指定されたauthProviderによって異なります。「authProvider」が「local」のユーザの場合、「authID」は「email」の値に設定されます。「authProvider」が「ldap」のユーザの場合、「authID」はLDAPサーバからの識別名（DN）に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
authProvider	string	False	idAuth識別子のコンテキストを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「cloud-central」 - ユーザー認証はNetApp Cloud Centralサービスから提供されます • 「local」 - ユーザー認証はローカルのユーザ/パスワードストアから行われます • 「ldap」 - ユーザー認証は外部LDAPサーバから行われますAstra Control Centerでは、すべてのユーザーが「local」または「ldap」のいずれかの値を持つ必要があります。値が指定されていない場合は、デフォルト値として「local」が選択されます。Astra Control Serviceでは、「authProvider」を「local」または「ldap」とすることはサポートされていません。値が指定されていない場合は、デフォルトで「cloud-central」が使用されます。

Name	を入力します	必須	説明
firstName	string	True	ユーザーが指定したフルネーム（名）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
lastName	string	True	ユーザーが指定した長めの姓を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
companyName	string	False	ユーザーに関連付けられた会社名を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、会社名が提供されていないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます

Name	を入力します	必須	説明
email	string	True	ユーザーが指定したメールアドレスを含むJSON文字列。
電話	string	False	ユーザーの電話番号を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、電話番号が提供されていないことを示します。
postalAddress	"postalAddress"	False	住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。
sendWelcomeEmail	string	True	検証後にウェルカムメールが送信されるかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定しない場合、ACSの場合は値が「true」に設定され、Astra Control Centerの場合は「false」に設定されます。定義された値は次のとおりです： 「true」 - ウェルカムメールが送信されます。作成時のデフォルト値です。 「false」 - ウェルカムメールは送信されません。「authProvider」が「local」または「Idap」のユーザの場合、この値は無視され、「false」に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
enableTimestamp	string	False	ユーザーが最後に有効化された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
lastActTimestamp	string	False	このユーザーに代わって最後にID APIが呼び出された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。（注：これはコストがかかります。）定義された値は次のとおりです： ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-user",
  "version": "1.2",
  "id": "5bad8e04-e2fd-5c43-98d7-300580993f49",
  "state": "pending",
  "isEnabled": "true",
  "authID": "HteLK3hk28sdbDLKHReB",
}
```

```

"authProvider": "cloud-central",
"firstName": "John",
"lastName": "Doe",
"email": "jdoe@example.com",
"sendWelcomeEmail": "true",
"lastActTimestamp": "2020-08-05T14:24:54.128427Z",
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

postalAddress

住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。

Name	を入力します	必須	説明
addressCountry	string	True	ISO 3166 Alpha-2で規定されている、郵便住所に関連付けられた国名または国コードを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：2 • 最大長さ：2
addressLocality	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、都市）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
addressRegion	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、州）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
postalCode	string	True	郵便番号に関連付けられた郵便番号を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
streetAddress1を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	True	郵便番号に関連付けられた番地を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
streetAddress2を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	False	オプションの付加的な住所情報（番地、私書箱など）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列[" type_astra_label "]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前

Name	を入力します	必須	説明
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

すべてのユーザーを一覧表示する

GET /accounts/{account_id}/core/v1/users

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: <code>{{.Account}}</code>
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。 URLの例 : <code>"include=id"</code> 、 <code>"include=id,name"</code> OpenAPI の例: <code>"id"</code> • 例: <code>id</code> 、 <code>email</code>
制限 (Limit)	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。 URLの例: <code>"limit=2"</code> OpenAPI の例: <code>"2"</code>

Name	を入力します	入力	必須	説明
フィルタ	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、リソースを返すためにどのフィールドを一致させる必要があるかを示します。 サポートされているオペレータは次のとおりです： • eq - 等号 • lt/gt - より小さい/より大きい • lte/gte - 以下/以上 URLの例 ： "filter=field%20eq%20%27value%27" OpenAPI の例 ： 「field eq 'value'」
OrderBy	string	query	False	コレクションを一覧表示する際の、リソースの並び順を示します。 URLの例 ： "orderBy=name"、"orderBy=name%20desc" OpenAPI の例 ： "name desc"
スキップします	string	query	False	コレクションを一覧表示する際にスキップするリソースの数を指定します。 URLの例： 「skip=1」 OpenAPI の例： "1"

Name	を入力します	入力	必須	説明
カウント	string	query	False	メタデータオブジェクトで返されるリソースの総数。 URLの例 ： "count=true" OpenAPI の例 ： "true"
続行		query	False	リストの表示を再開するトークンを示します。 URLの例 ： "continue=<continue token="" from="" collection="" metadata="">"</continue> OpenAPIの例 ： "<continue token="" from="" collection="" metadata="">"</continue></continue>"

応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか ： "user_1.2_get_response_body"、配列[]]	True	
メタデータ	"type_astra_metadata_list"	True	

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-users",
```

```

"version": "1.2",
"items": [
  [
    "11c0cfa1-4f27-4ef7-a21c-cb452fc5c9aa",
    "jdoe@example.com"
  ],
  [
    "e324ec3a-706d-4f57-a95d-1d88c03e7b73",
    "ssmith@example.com"
  ],
  [
    "3070c84d-129b-4017-82a8-2c26a42dd77e",
    "wjohns@example.com"
  ]
],
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

```
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

postalAddress

住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。

Name	を入力します	必須	説明
addressCountry	string	True	ISO 3166 Alpha-2で規定されている、郵便住所に関連付けられた国名または国コードを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：2 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
addressLocality	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、都市）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
addressRegion	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、州）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
postalCode	string	True	郵便番号に関連付けられた郵便番号を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
streetAddress1を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	True	郵便番号に関連付けられた番地を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
streetAddress2を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	False	オプションの付加的な住所情報（番地、私書箱など）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列[" type_astra_label "]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

user_1.2_get_response_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-user」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	ユーザーの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • "pending" - ユーザーアカウントは現在作成中です。ユーザーはユーザーリソースの読み取りと変更のみが可能です（デフォルト値）。 • この状態は、「authProvider」が「local」のユーザーには無効です • 「アクティブ」 - ユーザーアカウントは動作中です（アカウント設定「isEnabled」が「true」の場合、ユーザーはログインできます）。 • これは、"authProvider" が"local"であるユーザーのデフォルト値です • 「suspended」 - ユーザーアカウントが停止されています（アカウントの「isEnabled」設定に関係なく、ユーザーはログインできません）。

Name	を入力します	必須	説明
isEnabled	string	True	ユーザーがログインを許可されているかどうかを示すJSON文字列。定義済みの値は次のとおりです： 「true」 - ユーザーはログインできます。作成時のデフォルト値です。 「false」 - ユーザーはログインを許可されていません。
authID	string	False	外部IDプロバイダに関連付けられた識別子を含むJSON文字列。この文字列の内容は、指定されたauthProviderによって異なります。 「authProvider」が「local」のユーザの場合、「authID」は「email」の値に設定されます。 「authProvider」が「ldap」のユーザの場合、「authID」はLDAPサーバからの識別名（DN）に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
authProvider	string	False	idAuth識別子のコンテキストを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「cloud-central」 - ユーザー認証はNetApp Cloud Centralサービスから提供されます • 「local」 - ユーザー認証はローカルのユーザー/パスワードストアから行われます • 「ldap」 - ユーザー認証は外部LDAPサーバから行われますAstra Control Centerでは、すべてのユーザーが「local」または「ldap」のいずれかの値を持つ必要があります。値が指定されていない場合は、デフォルト値として「local」が選択されます。Astra Control Serviceでは、「authProvider」を「local」または「ldap」とすることはサポートされていません。値が指定されていない場合は、デフォルトで「cloud-central」が使用されます。

Name	を入力します	必須	説明
firstName	string	True	ユーザーが指定したフルネーム（名）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
lastName	string	True	ユーザーが指定した長めの姓を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
companyName	string	False	ユーザーに関連付けられた会社名を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、会社名が提供されていないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます

Name	を入力します	必須	説明
email	string	True	ユーザーが指定したメールアドレスを含むJSON文字列。
電話	string	False	ユーザーの電話番号を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、電話番号が提供されていないことを示します。
postalAddress	"postalAddress"	False	住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。
sendWelcomeEmail	string	True	検証後にウェルカムメールが送信されるかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定しない場合、ACSの場合は値が「true」に設定され、Astra Control Centerの場合は「false」に設定されます。定義された値は次のとおりです： 「true」 - ウェルカムメールが送信されます。作成時のデフォルト値です。 「false」 - ウェルカムメールは送信されません。「authProvider」が「local」または「ldap」のユーザーの場合、この値は無視され、「false」に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
enableTimestamp	string	False	ユーザーが最後に有効化された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
lastActTimestamp	string	False	このユーザーに代わって最後にID APIが呼び出された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。 （注：これはコストがかかります。）定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

type_astra_metadata_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

ユーザーを取得する

GET /accounts/{account_id}/core/v1/users/{user_id}

JSON レスポンスボディに格納された User API リソースを返します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
user_id	string	path (パス)	True	リストするユーザーコレクションのID

応答

Status: 200, Returns the stored User API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです: • 「application/astra-user」

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	ユーザーの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • "pending" - ユーザーアカウントは現在作成中です。ユーザーはユーザーリソースの読み取りと変更のみが可能です（デフォルト値）。 • この状態は、「authProvider」が「local」のユーザーには無効です • 「アクティブ」 - ユーザーアカウントは動作中です（アカウント設定「isEnabled」が「true」の場合、ユーザーはログインできます）。 • これは、「authProvider」が"local"であるユーザーのデフォルト値です • 「suspended」 - ユーザーアカウントが停止されています（アカウントの「isEnabled」設定に関係なく、ユーザーはログインできません）。
isEnabled	string	True	ユーザーがログインを許可されているかどうかを示すJSON文字列。定義済みの値は次のとおりです： • 「true」 - ユーザーはログインできます。作成時のデフォルト値です。 • 「false」 - ユーザーはログインを許可されていません。

Name	を入力します	必須	説明
authID	string	False	外部IDプロバイダに関連付けられた識別子を含むJSON文字列。この文字列の内容は、指定されたauthProviderによって異なります。「authProvider」が「local」のユーザの場合、「authID」は「email」の値に設定されます。「authProvider」が「Idap」のユーザの場合、「authID」はLDAPサーバからの識別名（DN）に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
authProvider	string	False	idAuth識別子のコンテキストを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「cloud-central」 - ユーザー認証はNetApp Cloud Centralサービスから提供されます • 「local」 - ユーザー認証はローカルのユーザ/パスワードストアから行われます • 「ldap」 - ユーザー認証は外部LDAPサーバから行われますAstra Control Centerでは、すべてのユーザーが「local」または「ldap」のいずれかの値を持つ必要があります。値が指定されていない場合は、デフォルト値として「local」が選択されます。Astra Control Serviceでは、「authProvider」を「local」または「ldap」とすることはサポートされていません。値が指定されていない場合は、デフォルトで「cloud-central」が使用されます。

Name	を入力します	必須	説明
firstName	string	True	ユーザーが指定したフルネーム（名）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
lastName	string	True	ユーザーが指定した長めの姓を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
companyName	string	False	ユーザーに関連付けられた会社名を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、会社名が提供されていないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます

Name	を入力します	必須	説明
email	string	True	ユーザーが指定したメールアドレスを含むJSON文字列。
電話	string	False	ユーザーの電話番号を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、電話番号が提供されていないことを示します。
postalAddress	"postalAddress"	False	住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。
sendWelcomeEmail	string	True	検証後にウェルカムメールが送信されるかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定しない場合、ACSの場合は値が「true」に設定され、Astra Control Centerの場合は「false」に設定されます。定義された値は次のとおりです： 「true」 - ウェルカムメールが送信されます。作成時のデフォルト値です。 「false」 - ウェルカムメールは送信されません。「authProvider」が「local」または「Idap」のユーザの場合、この値は無視され、「false」に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
enableTimestamp	string	False	ユーザーが最後に有効化された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
lastActTimestamp	string	False	このユーザーに代わって最後にID APIが呼び出された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。（注：これはコストがかかります。）定義された値は次のとおりです： ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-user",
  "version": "1.2",
  "id": "5bad8e04-e2fd-5c43-98d7-300580993f49",
  "state": "active",
  "isEnabled": "true",
  "authID": "HteLK3hk28sdbDLKHReB",
}
```

```

"authProvider": "cloud-central",
"firstName": "John",
"lastName": "Doe",
"companyName": "NetApp, Inc.",
"email": "jdoe@example.com",
"phone": "408-555-2222",
"postalAddress": {
  "addressCountry": "US",
  "addressLocality": "Sunnyvale",
  "addressRegion": "California",
  "postalCode": "94089",
  "streetAddress1": "495 East Java Drive"
},
"sendWelcomeEmail": "true",
"enableTimestamp": "2020-08-05T14:24:54.128427Z",
"lastActTimestamp": "2020-08-05T14:24:54.128427Z",
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

```
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
```

```
"title": "Operation not permitted",
"detail": "The requested operation isn't permitted.",
"status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

postalAddress

住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。

Name	を入力します	必須	説明
addressCountry	string	True	ISO 3166 Alpha-2で規定されている、郵便住所に関連付けられた国名または国コードを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：2 • 最大長さ：2
addressLocality	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、都市）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
addressRegion	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、州）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
postalCode	string	True	郵便番号に関連付けられた郵便番号を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
streetAddress1を使用したチャック アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	True	郵便番号に関連付けられた番地を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
streetAddress2を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	False	オプションの付加的な住所情報（番地、私書箱など）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

ユーザーを変更する

PUT /accounts/{account_id}/core/v1/users/{user_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更でき

ないキー値は保持します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path（パス）	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}
user_id	string	path（パス）	True	リストするユーザーコレクションのID

要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-user」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2"
ID	string	False	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	False	ユーザーの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • "pending" - ユーザーアカウントは現在作成中です。ユーザーはユーザーリソースの読み取りと変更のみが可能です（デフォルト値）。 • この状態は、「authProvider」が「local」のユーザーには無効です • 「アクティブ」 - ユーザーアカウントは動作中です（アカウント設定「isEnabled」が「true」の場合、ユーザーはログインできます）。 • これは、「authProvider」が"local"であるユーザーのデフォルト値です • 「suspended」 - ユーザーアカウントが停止されています（アカウントの「isEnabled」設定に関係なく、ユーザーはログインできません）。
isEnabled	string	False	ユーザーがログインを許可されているかどうかを示すJSON文字列。定義済みの値は次のとおりです： • 「true」 - ユーザーはログインできます。作成時のデフォルト値です。 • 「false」 - ユーザーはログインを許可されていません。

Name	を入力します	必須	説明
authID	string	False	外部IDプロバイダに関連付けられた識別子を含むJSON文字列。この文字列の内容は、指定されたauthProviderによって異なります。「authProvider」が「local」のユーザの場合、「authID」は「email」の値に設定されます。「authProvider」が「Idap」のユーザの場合、「authID」はLDAPサーバからの識別名（DN）に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
authProvider	string	False	idAuth識別子のコンテキストを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「cloud-central」 - ユーザー認証はNetApp Cloud Centralサービスから提供されます • 「local」 - ユーザー認証はローカルのユーザ/パスワードストアから行われます • 「ldap」 - ユーザー認証は外部LDAPサーバから行われますAstra Control Centerでは、すべてのユーザーが「local」または「ldap」のいずれかの値を持つ必要があります。値が指定されていない場合は、デフォルト値として「local」が選択されます。Astra Control Serviceでは、「authProvider」を「local」または「ldap」とすることはサポートされていません。値が指定されていない場合は、デフォルトで「cloud-central」が使用されます。

Name	を入力します	必須	説明
firstName	string	False	ユーザーが指定したフルネーム（名）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
lastName	string	False	ユーザーが指定した長めの姓を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます
companyName	string	False	ユーザーに関連付けられた会社名を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、会社名が提供されていないことを示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS、Unicode、ディレクトリトラバーサル、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます

Name	を入力します	必須	説明
email	string	False	ユーザーが指定したメールアドレスを含むJSON文字列。
電話	string	False	ユーザーの電話番号を含むJSON文字列。このキーが存在しない場合、電話番号が提供されていないことを示します。
postalAddress	"postalAddress"	False	住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。
sendWelcomeEmail	string	False	検証後にウェルカムメールが送信されるかどうかを示すJSON文字列。作成時に指定しない場合、ACSの場合は値が「true」に設定され、Astra Control Centerの場合は「false」に設定されます。定義された値は次のとおりです： 「true」 - ウェルカムメールが送信されます。作成時のデフォルト値です。 「false」 - ウェルカムメールは送信されません。「authProvider」が「local」または「Idap」のユーザの場合、この値は無視され、「false」に設定されます。

Name	を入力します	必須	説明
enableTimestamp	string	False	ユーザーが最後に有効化された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
lastActTimestamp	string	False	このユーザーに代わって最後にID APIが呼び出された日時を示す、ISO-8601形式のタイムスタンプを含むJSON文字列。（注：これはコストがかかります。）定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-user",
  "version": "1.2",
  "firstName": "John",
  "lastName": "Dale",
  "email": "jdale@example.com"
```

```
}
```

応答

Status: 204, Indicates if the user resource was updated.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

postalAddress

住所を指定するフィールドの集合を含むJSONオブジェクト。このキーが存在しない場合、住所が提供されていないことを示します。このキーが存在する場合、含まれる6つのフィールドすべてが存在します。ユーザーから何も入力されなかった場合、文字列は空になります。

Name	を入力します	必須	説明
addressCountry	string	True	ISO 3166 Alpha-2で規定されている、郵便住所に関連付けられた国名または国コードを含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：2 • 最大長さ：2
addressLocality	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、都市）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
addressRegion	string	True	郵便番号に関連付けられた地域（例えば、州）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
postalCode	string	True	郵便番号に関連付けられた郵便番号を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
streetAddress1を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	True	郵便番号に関連付けられた番地を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
streetAddress2を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	False	オプションの付加的な住所情報（番地、私書箱など）を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前

Name	を入力します	必須	説明
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

ユーザーを削除する

DELETE /accounts/{account_id}/core/v1/users/{user_id}

指定されたユーザー API リソースを削除します。

副作用

- ユーザーに関連付けられている以下のリソースが削除されます：notificationMarks、トークン、およびユーザーを参照するすべてのroleBindings。
- 「authProvider」が「local」のユーザーの場合、「keyType」が「passwordHash」のリンクされた認証情報も削除されます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}
user_id	string	path (パス)	True	リストするユーザーコレクションのID

応答

Status: 204, Indicates if the user resource was deleted.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前

Name	を入力します	必須	説明
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。